

NPO法人再生塾における 交通まちづくりを担う実務者育成



特定非営利法人
持続可能なまちと交通をめざす再生塾

理事長 正 司 健 一

(神戸大学 名誉教授)

2022.02.25

令和3年度
地域公共交通活性化シンポジウム in 関西

持続可能なまちと交通をめざす 再生塾

- ▶ 「再生塾」は、まちづくりや交通の問題の解決に取り組む行政・地域・企業等の**実務者**を対象として、理論・実践に関する情報を提供し、**参加者相互の対話・交流**を通して“**ビジョン**”と“**夢**”**を共有**し、持続可能なまちと交通の推進に寄与することを目的として、故北村隆一先生が提唱され、2007年度から活動を開始
- ▶ ビジョンと夢を共有し、
人的ネットワークを構築
- ▶ まちづくりの**理論・技術を学ぶ場**
問題を構造化して捉え、解決策を組立て、
提案し、説得し、実行し、まとめ上げる
「力」を養成：**志をもつ人財に**
- ▶ 交通まちづくりの支援・提言



再生塾の沿革

- ▶ 2006年12月 国際シンポジウム(神戸国際大学)・・・ソウル市の劇的な変化
- ▶ 2007年正月 北村先生の自宅に集結！→総合的な交通政策を推進できる人を
- ▶ 2007年 8月 再生塾スタート
- ▶ 2008年 2月 特定非営利法人設立 (北村先生ご逝去)
- ▶ 2008年 8月 基礎編(ワンデイセミナー)スタート
- ▶ 2008年10月 アドバンストコース スタート
- ▶ 2010年 5月 地方議員向け・地域公共交通政策セミナー スタート
- ▶ 2010年 7月 世界交通学会で再生塾の活動を発表(リスボン・ポルトガル)
- ▶ 2012年 5月 創立5周年記念交流会開催・韓国交通研究院との交流協定締結
- ▶ 2014年 8月 技術編セミナー スタート
- ▶ 2014年 9月 にしきた商店街を対象とした実践編 スタート
- ▶ 2017年 8月 JCOMM(日本モビリティ・マネジメント会議)プロジェクト賞受賞
- ▶ 2017年 9月 創立10周年記念交流会開催
- ▶ 2021年 3月 近畿運輸局表彰
- ▶ 2021年 7月 国土交通大臣表彰

行政の組織体制の課題

組織名	交通担当課職員数	TDM担当
京都府建設交通部交通政策課	14名 内管理職2、技術 3	3名
埼玉県企画財政部交通政策課	18名 内管理職1、技術 2	3名
大分県企画振興部総合交通対策課	10名 内管理職2、技術 0	1名
大阪府都市整備部交通道路室都市交通課	17名 内管理職3、技術 14	6名

2009年度

- 交通対策ではなく交通政策を担う組織がない
- 問題が生じてこなかった地域には交通対策担当がいない
- 交通について学んだことがない職員が3年毎に入れ替わる
- 3年で替わる仕組みでは自ら学ぶ意欲が湧かない
- 組織が硬直化し、マネジメントするチャンスがない
- 研修も年に1～2度では限界(研修に行く余裕がない、仕組みがない)
- 最新の交通政策を体系的に学ぶ機会がない
- 交通事業者と行政が交流する場なく、相互理解が進まない

誰が交通の責任者か

成功体験が積めない
OJTも限界

自分たちの都合に
合わせてやっている



写真提供：堺市(フライブルグ・クロイドン, ストラスブール), CA/T HP(ボストン)

それは欧米の話、で 本当にいいのか



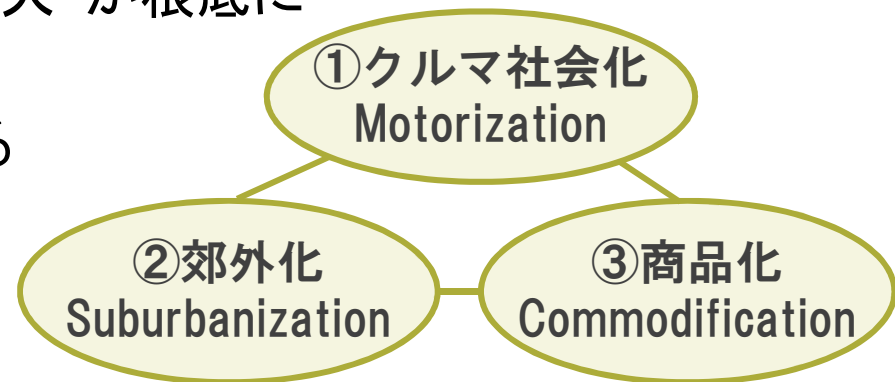
できない理由をあげる
だけでは何もはじまら
ない

未来をつくるのは
「ひと」



なぜ、再生塾

- なぜ“まち”と“交通”の問題は解決しないのか！？（北村先生談）
 - 共有されない「自動車主体の交通体系は都市と相容れない」という認識
 - 抗しがたい“クルマに浸る幸せ”
 - “公共領域の衰退+私的領域の拡大”が根底に
 - “車”から“公共交通”への移行は
ライフスタイルの転換を意味する
- 何をやるか（理論・知識）と
どうやるか！（実践）
- ソーシャル・キャピタルの重要性の認識
 - 我々が持っている人間のネットワーク
 - 「資本」であるからには「投資」が必要（創造力・エネルギー・時間・お金）
 - ソーシャル・キャピタルは資材を補完し、人々の幸せに寄与する



再生塾のプログラム

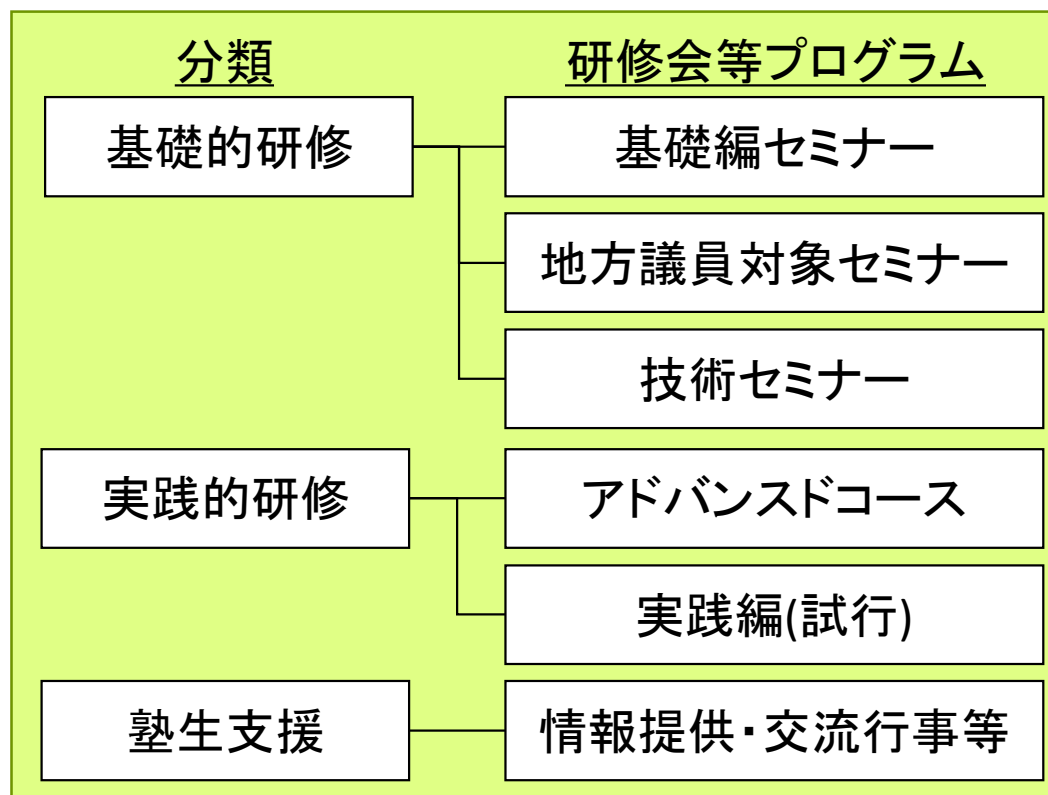


図 再生塾人材育成プログラムの構成

(出典: 土井勉「再生塾をはじめよう」『NPO法人・再生塾の10年』、8頁、図3-1)

- 各回、毎年度、効果を把握、評価・検証に基づいて必要な改善を加える
- LFの対応等についても検証、心得の策定
- 思考停止しない

【基本的考え方】

佐分利応貴「社会的インパクト評価イニシアチブ」

① 対処療法ではなく、原因療法

食べ物が無いから魚をあげるのではなく、魚の捕り方を教えて自立へ

② スタッフの個人的情熱だけに頼らない組織論

③ 成果の評価・検証をすること

再生塾の実際：基礎編

- 2007年度より毎年開催（基本、5月）
- 参加費用 3,000円（再生塾会員及び賛助会員は無料）
- 定員60名（コロナ対応で40名＋オンライン、全面オンライン）
- 交通政策や交通技術の基礎を体系的に学ぶ講義と参加者全員の問題意識の発表、グループワークを1日で実施
- 終了後に懇親会（before コロナ）
 - 👉 おかげさまで、いつも定員一杯

2019年5月実施のプログラム

- 1 レクチャー まちづくりと交通政策総論 土井 勉
- 2 意見交換 持続可能なまちと交通-わたしの問題意識- 参加者のみなさまから
- 3 レクチャー 公共交通の経営 正司 健一
- 4 レクチャー 交通政策とコミュニケーション 松村 暢彦
- 5 レクチャー 公共交通活性化,再生の実践 辻堂 史子
- 6 グループ・ディスカッション 持続可能なまちと交通-課題解決に向けて- 全員で



再生塾の実際：議員編

- 中心市街地の活力低下や地域交通の衰退が深刻化するなか、交通政策の基本的な考え方や先進事例、計画手法等を知りたいという声に応じて、2010年より実施
- 定員 15名、(参加費用 15,000円)
- ●路線バスの赤字、縮小・廃止 ●コミュニティバスを実施中または計画中 ●中心市街地の活力低下 ●公共交通サービスが不十分 ●総合的な交通政策や戦略が必要 ●観光振興をめざしている等、実際の課題を聞き、触れながら講演、そして意見交換・質疑応答

●プログラム(例)

- | | |
|---------------------------------------|------------|
| 1 レクチャー 自治体における公共交通政策総論 | 土井 勉 |
| 2 意見交換 私の問題意識 | 参加者のみなさまから |
| 3 レクチャー 公共交通政策の財政と負担 | 正司 健一 |
| 4 レクチャー いったい『まちづくり』ってなんでしょう？ | 小林 郁雄 |
| 5 レクチャー 地域公共交通と福祉交通 | 柳原 崇男 |
| 6 レクチャー 公共交通政策の実践 | 東 徹 |
| 7 意見交換 質疑応答「持続可能なまちと地域公共交通-課題解決に向けて-」 | |

そして、アドバンスドコース

- 「基礎編」相当の考え方や技術を習得している方、数年程度の実務経験を持つ方を対象に、実際のフィールドでのケース・スタディによる実践的研修。2008年より実施
- 定員 20名、(参加費用 20,000円、再生塾会員は割引有り)
- グループで、対象とするフィールドにおける自ら認知した課題に取り組み、担当ラーニング・ファシリテータ(LF)を交えた意見交換を積み重ねて実践的な『提言』をまとめる
- 研修の範囲：
各フィールドの現状把握、問題点と課題認識、検討すべきテーマと検討方法など、目的から成果に至る全てのプロセス
- 研修の成果は、協力していただくフィールドの担当者に対して、報告会などで「報告と提案」を行う ⇒ **実現した事例も。例えば京都バス**



アドバンスドコースの特徴：互学互習

□ ビジョンの共有

絵空事としてのビジョン → 実現へのシナリオs → 複数シナリオの比較

□ チーム学習

行政・コンサルタント・交通事業者の混成チーム(4～5名)

実務で起こっている問題を、チームで共有化・検討し、メンバーの多様な視点や思考によって真の原因を発見し、解決策を立案し、実際に実施(行動)することで確実に問題を解決していくプロセス

- 1)問題を感じ取る 2)問題の所在をつきとめ、構造化する 3)注意深く調べる
- 4)問題解決のための計画を立てる 5)実務者に提言する

□ ラーニング・ファシリテーター(現在18名)

チームが効果的に機能しているかをチェックし、うまく機能していなければ介入を行い、より効果的にチームが機能するための質問をする役回り
(現在:大学教員(5), 公務員(4), 交通事業者(3), コンサルタント(6) の混成)

アドバンスドコースの実際

- 第1回 7月31日(土) 開講式、オリエンテーション、研修計画、各コースの政策課題の共有等
- 第2回 (各グループ別) 現地 現地視察, 調査
- 第3回 9月11日(土) **技術セミナー**
- 第4回 10月9日(土) 現況把握、現状認識と課題共有
- 第5回 11月7日(日) 中間報告、課題と政策の方向性に係る意見交換等
- 第6回 12月11日(土) 報告会、提言に向けた取り組みに係る意見交換等、開講式
- 研修会その他、ML、SNS、グループ別ミーティング、追加の現地調査等で議論を積み重ねる

亀岡における現地調査(2021) ⇒



技術セミナー

- 交通計画に関連する技術力の向上をめざして、2014年より開始。アドバンスドコースの第3回の位置づけになっている
- 定員 20名、(参加費 10,000円、再生塾賛助会員 5,000円)
- 定量的な検討力の向上をめざし、調査手法、既存データへのアクセス方法、分析方法、検討への心構え等のレクチャー

プログラム

- | | | |
|---------|---------------------|------------|
| 1 レクチャー | データの種類・入手方法 | 塩土 圭介 |
| 2 レクチャー | 交通まちづくり関連データの使い方と活用 | 白水 靖郎 |
| 3 レクチャー | 公共とは何か？ | 小池 淳司 |
| 4 レクチャー | 地域公共交通利用実績データの読み解き方 | 福本 雅之 |
| 5 レクチャー | アドバンスドコースのフィールドから | 児玉 健・小池 淳司 |

受講者から

- ・データの入手方法から分析方法まで、日常業務にとっても役立つ内容だった。
- ・なかなか一人では勉強しにくい内容で、とても助かった。

アドバンスドコースの成果

最後は見事なチームができあがる

業務などでは考えざるを得ない、様々な制約をとっぱらった、自由なディスカッションができました。
目から鱗がいっぱいでした。

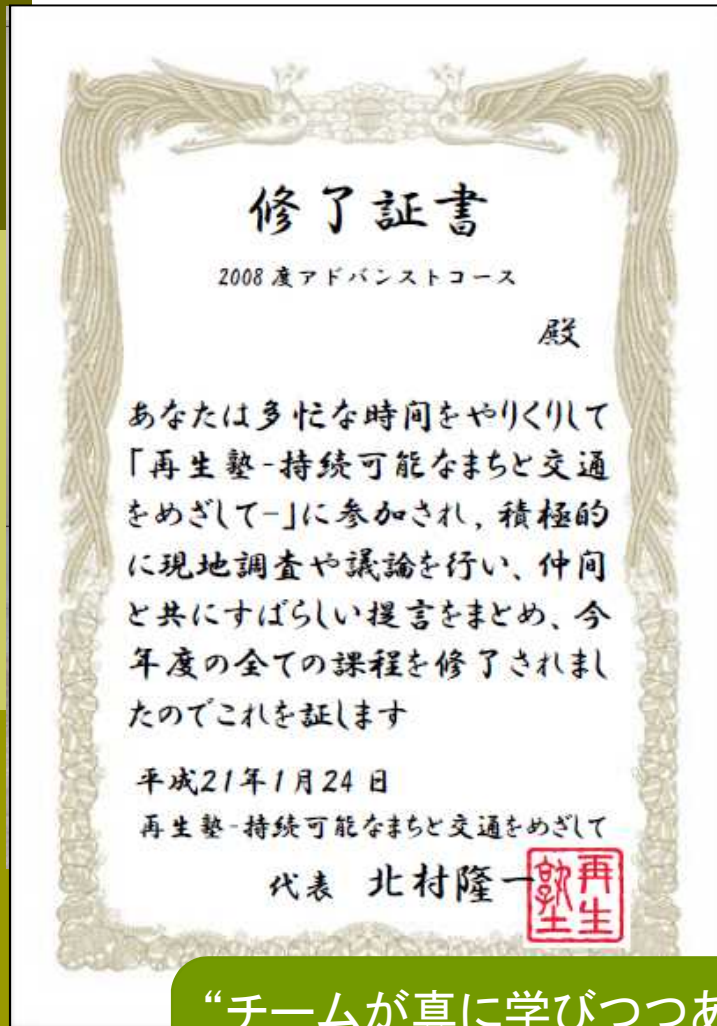


交通は、まちづくりと一体的に交通を考えないといけないということが、みんなで調査を行いながら、強く感じました。

課題発見から地域特性を生かした提案まで、たくさんの人と議論して検討していくことで、多くの気づきがありました。

- ◆ 同じ志を持つ、色々な人たちとの【出会い】・・・「新たな交流ができた！」
- ◆ 知識・考え方等の【習得】・【再確認】・・・「こんな世界があるなんて…」
- ◆ 議論・意見交換等による様々な【気づき】
 - 「余計なお世話では？」 → 今は良いかもしれないが、10年後は…
 - 「結局、何がしたいのか良くわからない」 → 課題に立ち返ろう！
- ◆ 熱い議論等による【モチベーションの向上】・・・「これからまだまだ頑張ります！」
- ◆ 研修全般を通じて【考える力・意識の醸成】・・・仕事を離れての贅沢な時間
チーム全員再生塾中毒に？

価値ある修了証書



2021年度アドコース受講の皆様とLF、ゲストの皆様

“チームが真に学びつつあるとき、それは大きな成果を生むだけではない、
個々のメンバーも、ほかでは不可能なほど急速な成長をとげる”
(「学習する組織の5つの鍵」ピーター・M・センゲ)

さらに、広がるその活動



基礎編

議員対象セミナー

アドバンスドコース + 技術セミナー

実践編

日本酒探訪会・競馬部・甲子園部他, 様々な課外活動



各回修了後の交流会、研修旅行

各フィールドとの交流会・報告会

様々な学会での発表とネットワークの拡大

研究機関との交流協定



皆さんも、ぜひ、再生塾へ

さて、状況は変化してきているだろうか

なんで交通政策が
なかなか進めへんのやろ？！

〇〇ではあんなに早う(着実に)
プロジェクトが進んでんのに！

乗客が減ってばかり、
打つ手がもうないよ

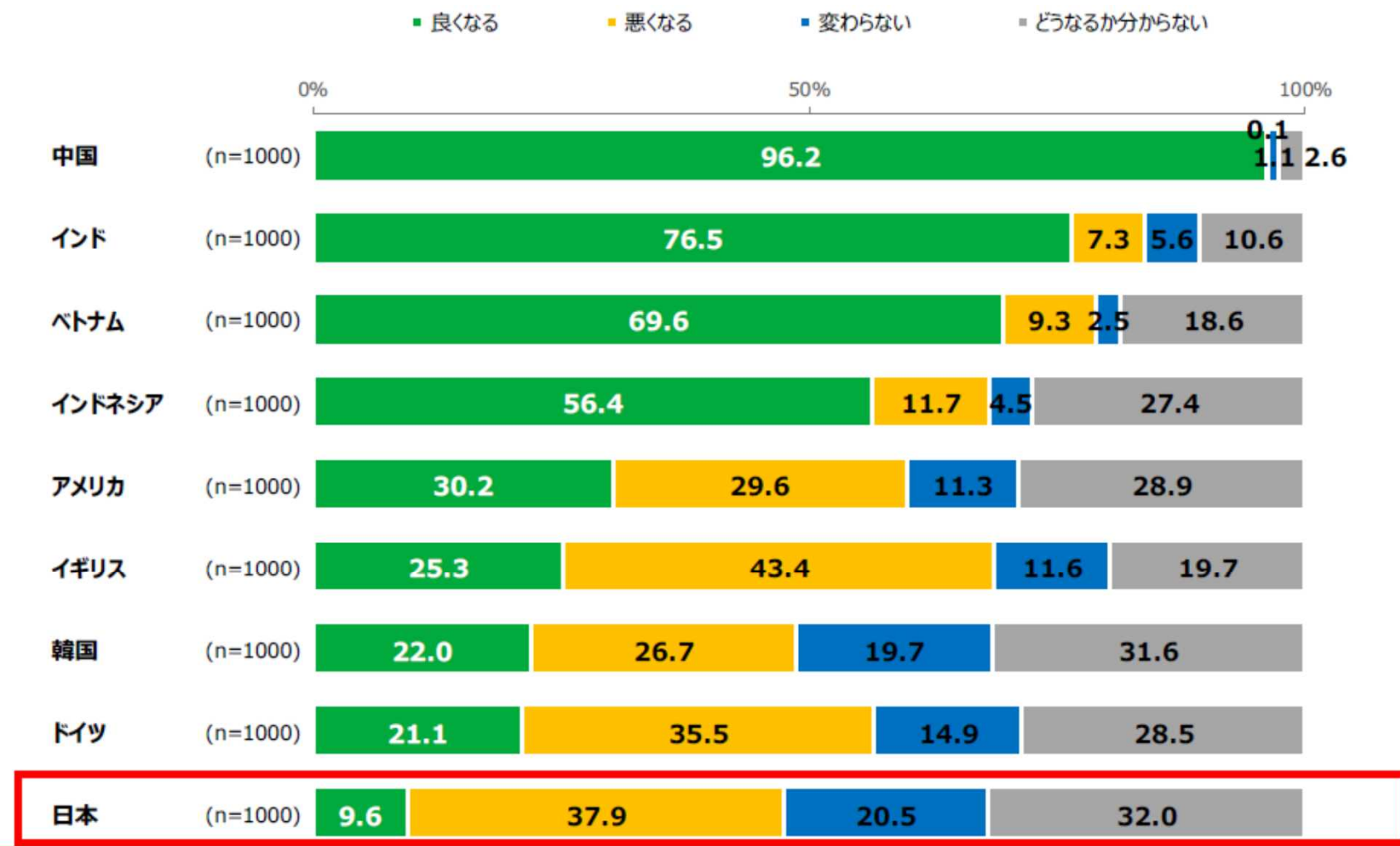
計画づくりは熱心なん
だけど、なんだかね

いっぱいやらなあかん事があるやろ！
すぐできる事もあるやないか！

何とかでけへんのやろか？！
何かできるやろ！



日本財団：18歳意識調査 第20回：社会や国に関する意識」より 「自分の国の将来についてどう思っていますか(各国 n=1000)」



2019年9月下旬から10月上旬に、インド、インドネシア、韓国、ベトナム、中国、イギリス、アメリカ、ドイツと日本の17～19歳各1,000人を対象にした調査の結果

<https://www.nippon-foundation.or.jp/who/news/pr/2019/20191130-38555.html>

皆さまの参加をお待ちしております

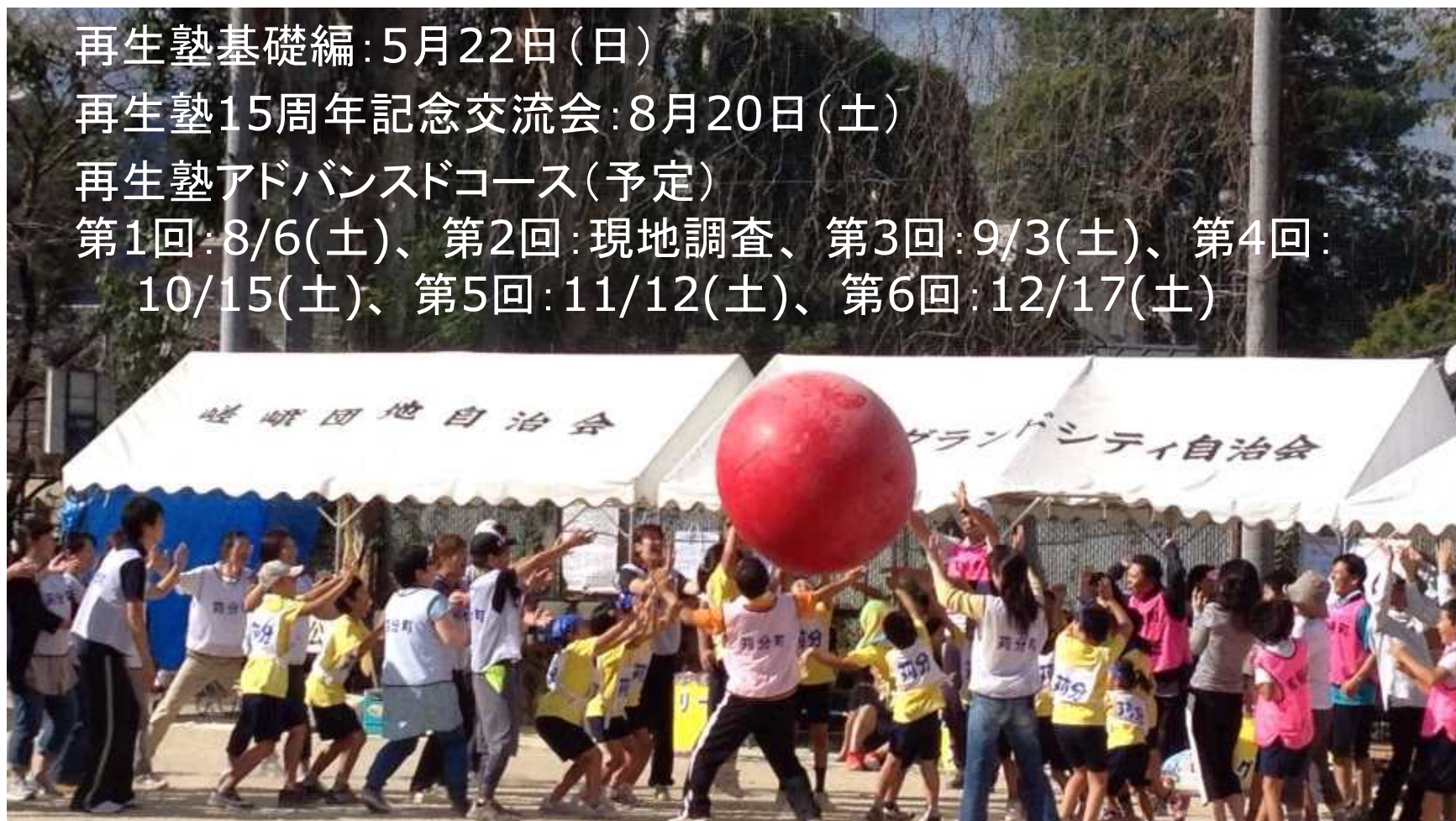
<http://www.saiseijuku.net/>

再生塾基礎編:5月22日(日)

再生塾15周年記念交流会:8月20日(土)

再生塾アドバンスコース(予定)

第1回:8/6(土)、第2回:現地調査、第3回:9/3(土)、第4回:
10/15(土)、第5回:11/12(土)、第6回:12/17(土)



写真提供: 土井勉 (再生塾・理事)